



夏を制する者が、進路を制する！～自分の進路を切り拓く夏休み～

厳しい暑さが続いています。いよいよ待ちに待った夏休みが始まります。「夏を制する者は進路を制する!」という言葉があるように、この1か月はみなさんの未来を大きく変える特別な時間です。特に3年生にとっては、人生の重大な選択や試験に勇気をもって立ち向かう、本気の取り組みが望まれる時期です。校内には指定校一覧が掲示され、求人票の閲覧や職場見学も始まっています。保護者の方や担任の先生とよく話し合い、じっくり考えて自分の意志で決断していきましょう。

もちろん、1・2年生にとっても、今から自分の将来について考え始める絶好のチャンスです。

進路選びでは、不安を感じることもあるかもしれません。しかし、一番大切なのは「焦らず、あきらめず、努力を続けること」です。みなさんがそれぞれの目標を達成し、最高の進路実現ができるよう、心から応援しています。さあ、勇気を出して、この夏を全力で駆け抜けましょう!

3年生の夏休み

3年生が夏にやるべきことです。

1・2年生にとっても、決して他人事ではありません。先輩たちがこの時期にどのような準備をしているのかを今から知っておき、来るべき時に備えましょう。



進学希望者がすべきこと

指定校推薦や総合型選抜を控えている進学希望者は、情報収集と書類作成、試験対策を並行して進める必要があります。

①学校見学・学校調べ

志望校の見学(事前予約が必要な場合あり、オンラインでの参加が可能な学校もあり)を行い、学校や入試についてよく調べましょう。

②出願書類(提出書類)の準備

志望理由書、修学計画書、活動報告書などの作成を早めに進めてください。

③入学試験の対策

小論文(要約を含む)の練習、プレゼンテーションの準備、面接練習に真剣に取り組みましょう。

④募集要項の準備

指定校以外の学校を希望する場合は、自分自身で募集要項を入手してください。

就職希望者がすべきこと

就職希望者は、企業のリアルな姿を知り、自分自身をしっかりとアピールするための実践的な準備を進めます。

①応募前職場見学（企業見学）・企業調べ

実際に企業を見学し、求人票だけでは分からない職場の雰囲気や業務内容を確認しましょう。

②提出書類（履歴書）の準備

履歴書の作成を進めてください。特に「志望の動機・アピールポイント等」は、自分の言葉でしっかりと考えることが大切です。

③面接練習

面接は一朝一夕には上達しません。何回も繰り返し練習を重ねて、自信を持って本番に臨めるようにしてください。

【指定校・指定求人の日程】

- ◆ 7月30日（木） 国公立推薦・指定校申込用紙（様式①）提出締め切り
- ◆ 8月4日（火） 希望企業カード（指定求人）提出締め切り
- ◆ 8月5日（水） 指定求人会議
指定校会議（大学・短大・専門学校の推薦者決定）

※指定校会議後から、指定校推薦決定者に「指定校推薦用募集要項」を配布します。

なお、県外私立大学の多くは8月下旬以降に募集要項が届くので、すぐに受け取ることができません。

【就職試験の日程】

- ◆ 8月20日（木） 就職応募書類の提出 ⇒ 点検、書き直しもあり
応募書類を提出したら面接練習を始める
- ◆ 9月3日（木） 予定 就職応募書類の発送手続き
- ◆ 9月8日（火）6限 進路ガイダンス③（事前指導）
- ◆ 9月16日（水） 就職採用選考開始 ⇒ 下旬から結果通知が届きます

公務員の応募について

採用試験の申込期間や方法は、自治体によって違うので、頻繁にホームページ等をチェックして情報収集をすることが重要です。大切なのは必ず自分の目で確認することです。原則、自分で募集要項を取り寄せて、自分で申し込むことになるので注意してください。

「公務員採用試験」は9月の日曜日ごとに実施されます。

1週目	国家一般、税務など
2週目	裁判所、東京都、特別区（東京23区）、東京消防庁、警察庁事務など
3週目	警察官・女性警察官、市町村（新発田市・胎内市・阿賀野市・関川村・村上市・五泉市など）、新発田市広域消防、刑務官
4週目	新潟県（一般、警察事務、学校事務）、新潟市（一般、学校事務）、新潟市消防、海上保安庁、自衛官候補生など

「推薦」に臨む心構え

学校推薦型選抜（指定校推薦や公募制推薦）での進学、あるいは求人票による就職を目指しているみなさんは、「推薦」の意味と責任についてしっかり考えてください。

① 「推薦」の持つ本当の意味を知る

進学であれ就職であれ、学校推薦を利用するには必ず校長からの推薦が必要になります。

つまり、この推薦という言葉には、「この生徒は学校生活での態度や学業への取り組みが良好であり、貴学（貴社）に入学（入社）した場合、期待に添え、能力を十分に発揮できる人物であるため、校長が推薦する。」という意味が込められているのです。

② 今あるチャンスは「先輩たちの努力の財産」

現在、本校に多くの指定校推薦枠や求人が来ているのは、これまでの芝商の先輩たちが進路先で努力を積み重ね、期待に応える行動をとってきた結果なのです。

そして、次はみなさんの番です。みなさんが進路先でとる行動や努力が、そのまま後輩たちの未来（指定校枠や求人）に影響を及ぼすことになります。

③ 「基準を満たしているから」という安易な気持ちは捨てる

「推薦基準の評定を満たしているから」「早く進路が決まりそうだから」といった安易な理由だけで推薦入試を選択しないでください。

推薦されることの重み、そしてその進路先で「新発田商業」の看板を背負って学び、働くことの責任を、この夏休みによく考えて進路と向き合ってほしいと思います。

推薦入試は「楽な道」ではなく、「学校の信頼を背負って進む道」です。



1,2年生の夏休み

1・2年生は、夏休みも学習と部活動に励み、人間形成と高校生活の充実に努めてください。また、進路についてじっくり考える良い機会でもあるので、学校見学やオープンキャンパスへ積極的に参加をしてください。また、余裕があればボランティア活動などの社会貢献にも目を向けましょう。

みなさんにもやがて、必ず進路を選択する時が来ます。決して他人事ではありません。その時になって後悔しないように、「今できること」に全力で取り組んでください。地道な努力を続けることによって、自分では気づかなくても、何かしらの形で自分自身に良い影響を与えてくれるはずです。

① 「学習成績の状況」の目標設定

- ・1学期の通知表をもとに、自分の「評定平均値」を計算し、今後の目標を設定してください。
- ・国公立大学を希望する生徒は、4.3以上を目指してください。
- ・指定校推薦を希望する生徒は、進路資料室前に掲示されている「指定校一覧表」を確認し、興味のある学校の推薦条件を目標にしましょう。
- ・すべての定期考査で65点以上（評定4.0以上）を目指して学習に取り組みましょう。また、進路の選択肢を狭めないためにも、50点以下は絶対に避けるように日頃から努力してください。

② 「欠席」を減らし、規則正しい生活習慣を確立する

- ・進路実現（就職・指定校推薦など）において、欠席をしないことは非常に大きな要素です。近年、推薦条件に欠席日数を設定する学校も増えています。
- ・夏休みに生活習慣を崩さないよう注意し、適正な睡眠時間を確保しましょう。スマートフォンの使い方を意識的に考え、自分なりの健康管理を図ってください。

③ 「特別活動」へ前向きに取り組む

- ・部活動に毎日一生懸命打ち込むことは、競技力の向上だけでなく人格・人間性を養います。企業の採用担当者からも「部活動に打ち込んだ生徒に来てほしい」という要望がよく聞かれます。
- ・どのような活動や行事にも意欲的に取り組み、楽しむ姿勢を持ちましょう。「頼まれ事は、試され事」です。
- ・校外の活動（ボランティアなど）にも関心を持ち、多くの人と交流して幅広い人間関係を構築していきましょう。

進路ガイダンスの実施

7月6日（月）から8日（水）にかけて、全学年を対象とした進路ガイダンスを実施しました。当日は多くの大学・専門学校関係者や講師の方々が来校し、各学年のニーズに合わせた多様なプログラムが展開されました。

生徒たちはどのプログラムにおいても講師の方の話に真剣に耳を傾けていた姿が印象的で、それぞれの進路実現に向けて意識を高める非常に有意義な機会となりました。また、問題演習や面接練習にも意欲的に取り組み、目標達成に向けた具体的なイメージを深めることができたと思います。

それぞれの成長段階に応じた指導を通して、生徒にとって進路について考える良いきっかけとなりました。今後もそれぞれの目標の実現に向け、学校全体で手厚くサポートしていきます。



1年生(7/6)	2年生(7/8)	3年生(7/7)
①進路講話(全体会)	【大学・短大・看護系専門学校】 学部・学校説明	【大学・短大・看護系専門学校】 小論文指導 分野別に試験内容の説明
	【専門学校】 分野・学校説明	【専門学校】 分野別に試験内容の説明 分野別に面接指導
②大学・短大、専門学校、就職、公務員に分かれての分野別説明会	【就職】 総合説明、クレペリン検査等	【就職】 企業説明会の情報報告 履歴書指導
	【公務員】 総合説明、学習指導等	【公務員】 出願スケジュールの確認 問題演習